

## 東京都看護師認知症対応力向上研修Ⅱ 標準カリキュラム

研修のねらい		
認知症の人を理解し、より実践的な対応力(アセスメント、看護技術、院内外の連携等)を習得する。		
到達目標		
1 認知症及び認知症の人とその対応の原則について理解する。 2 認知症の症状・特徴を踏まえた基本的な対応(アセスメント、看護技術、環境調整等)を行うことができる。 3 病棟等における実践的な対応(チーム対応、院内外の連携、介護者支援)を行うことができる。		
区分	主な内容	形態・時間数
認知症ケアに関する知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知機能障害の理解とアセスメントの視点</li> <li>・生活機能障害のアセスメントとケアのポイント</li> <li>・せん妄の病態、認知症との鑑別</li> <li>・せん妄のアセスメントとケアの方法</li> <li>・認知症患者のリスクマネジメントと行動制限</li> </ul>	講義 180分
認知症の退院調整と地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院調整に当たっての情報収集と多職種連携の課題</li> <li>・退院調整と意思決定支援</li> <li>・入退院に係る地域資源との連携</li> </ul>	
認知症のチームケアと情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症のチームケアと自身の役割</li> <li>・チームアプローチ・チームワークの影響とケアの改善</li> <li>・認知症ケアにおける倫理的課題</li> <li>・チーム内における情報共有のポイント</li> </ul>	
演習	自己・自部署における認知症ケアを振り返り、個々の認知症に対する対応や地域連携等の改善に向けた方策を実践することができるよう、事例検討、課題分析、アクションプラン作成等のグループワークを実施	演習 210分